

ビジネスアイデアの概要

手術支援ロボットの普及が進み術中の情報が高度にデータ化された一方、術者の技量評価はいまだに主観に依存しており、客観的な評価手段が確立されていない。本事業では、手術支援ロボットの操作ログと術中動画をマルチモーダルにAI解析し、術者の技量を客観的に評価・可視化し、術後のアウトカムとの関連を解析する技術の事業化可能性を探索する。将来的には他機種への展開も視野に入れる。

ビジネスアイデアを事業化するための課題

- ・顧客ヒアリング（手術ロボット製造会社、国内外病院など 計10件）
- ・ビジネスモデル検証（SaaS型・ライセンス型の最適組み合わせ）
- ・知財戦略（特許「手術手技評価システム」権利範囲確定）
- ・スタートアップ設立準備（CEO候補選定、資金調達戦略）

事業化の見通し

現在の到達点:

- ・hinotoriの操作ログを用いた術者分類・評価AIモデルを開発済み
- ・AMED（2025-2028）、科研費基盤C（2026-2028）等で研究継続中
- ・国際誌に関連論文を掲載

今後の計画:

FR活動による顧客ニーズ検証・ビジネスモデル精緻化を経て、プロトタイプ開発・事業化を目指す

事業者情報

植木 秀登

神戸大学医学部附属病院 泌尿器科 特命助教

ビジネスアイデア概要図等

